

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立瑞穂農芸学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長（事務局長）、主任教諭（教務主任） 計2名
- (3) 内部委員の構成
経営企画室長、各分掌主任（教務主任、生活指導主任、進路指導主任、学年主任） 計5名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
保護者代表（2名）、同窓会長、近隣中学校長、近隣小学校長 計5名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月9日（金）内部委員5名、協議委員5名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
令和4年度学校経営報告並びに令和5年度学校経営計画について
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和5年11月24日（金）内部委員5名、協議委員5名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
学校評価アンケート案の検討
 - 第3回 令和6年2月9日（金）内部委員5名、協議委員5名
令和5年度学校経営報告について
これまでの教育活動に関する報告
学校評価アンケートの報告及び学校運営に関する提言、協議
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
未実施

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：39人 回収：36人 回収率：92%
 - ・12月 保護者全員 対象：39人 回収：14人 回収率：36%
 - ・12月 教職員 対象：10人 回収：9人 回収率：90%
- (3) 主な評価項目
学校生活、学習指導、進路指導、経営企画室、施設設備、給食、読書状況、学校HPやX（旧ツイッター）の閲覧回数等について
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・学校生活については、生徒は88.6%、保護者は83.5%、教職員は84.5%の満足度を得ている。
 - ・授業については、生徒は87.7%、保護者は83.5%、教職員は93.7%の満足度を得ている。
 - ・進路指導については、生徒は77.8%、保護者は60.5%、教職員は64.0%の満足度を得ている。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。
 - ・学校評価から、本校は学校として落ち着いた状況にあるが、生徒・保護者の進路指導への満足度が低い。来年度以降、この満足度の数字を上げていく取組が必要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施、充実が引き続き必要であると認識できた。
- ・生徒の言語能力や学力が進路指導にも現れるため、基礎学力の定着を図り、学習指導を工夫し、生徒それぞれの課題を克服し進路を切り開けるよう指導していく必要がある。個別の対応が今後も求められている。
- ・協議委員の方々より、貴重な意見等を聞くことができ、外から見る生徒の様子、学校の在り方などを知ることができた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった

- ・今後の教育活動の実施に関しては、学校HPやX（旧ツイッター）、自治体の広報紙や地域連携に進んで取り組み本校の良さを更に周知していく必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- ・学期ごとに校内研修会を実施する。
- ・入学した生徒が誇りを持ち、充実感を得ることが出来る学校生活を送れる学校づくりを目指す。

（2）学習指導

- ・小中学校や地域との連携について、方法も含めできることを模索し、瑞穂農芸高校として生徒を育てるランドデザインを深めていく。
- ・進路実現（第一志望合格）ができる学力向上を図る。
- ・少人数授業（国語・数学・英語）を行い、各自の進路にあわせてきめ細かな学習指導を充実する。

（3）特別活動

- ・生徒会活動の活性化を図り、生徒間の協調性を養う。
- ・瑞高祭等、学校行事を通じて生徒の育成を図る。
- ・少しずつ部活動の活性化を図り、心身ともに成長を図る。

（4）生活指導

- ・教員の指導力を高め生徒一人一人に寄り添い、引き続きいじめや体罰のない学校を目指す。
- ・生活指導の重要性を教員に理解させ、全員で組織的に生活指導を行う体制を構築する。
- ・自転車マナーの改善・ヘルメットの着用等、交通安全教育の徹底を図る。

（5）進路指導

- ・進路指導部の組織的運営を目指す。
- ・面接指導や小論文指導、進路講演会、上級学校訪問への参加等で、進路への動機づけを図る。
- ・インターンシップを活用しキャリア教育の充実を図る。

（6）健康・安全

- ・生活指導部を中心に、日常的に心身の健康の維持、増進を図る。
- ・スクールカウンセラーを活用し、1年生のみならず在籍生徒全員のカウンセリングを実施する。
- ・避難訓練、セーフティ教室等を実施し、安全意識の浸透を図る。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

8 その他

- ・今年度は Forms を活用し、前年度よりアンケートの回収率を大幅に高めたが、Classi の導入によりどちらを今後使用してかを検討していく必要がある。